



日邦産業株式会社
(証券コード：9913)
2020年3月期 決算等説明資料

2020年 5月15日
代表取締役社長
岩佐 恭知



I 2020年度3月期 決算報告

P2～P8

II 中期経営計画～2021年3月期の取組み～

P9～P15

お問い合わせ先

P16

I 2020年3月期 決算報告

事業セグメント

製造

商事

モビリティ



パワートレイン系機構部品
電子制御系関連部品
・樹脂成形品、インサート部品
・コイル部品/組付け
・金属加工部品



医療・精密機器

ディスプレイ医療製品
高機能医療関連器具
プリンター関連部品
デジタルイメージング関連部品



エレクトロニクス



電子部品関連 高機能材料
・薄膜プロセス材料
・パッケージ材料
配線板関連材料
高機能加工部品、治工具、機器
RFID関連製品、ICカード、ICタグ等



(住宅設備)

住宅配管関連部品
給湯器関連部品
介護ベッドコントロールユニット
燃料電池関連部材



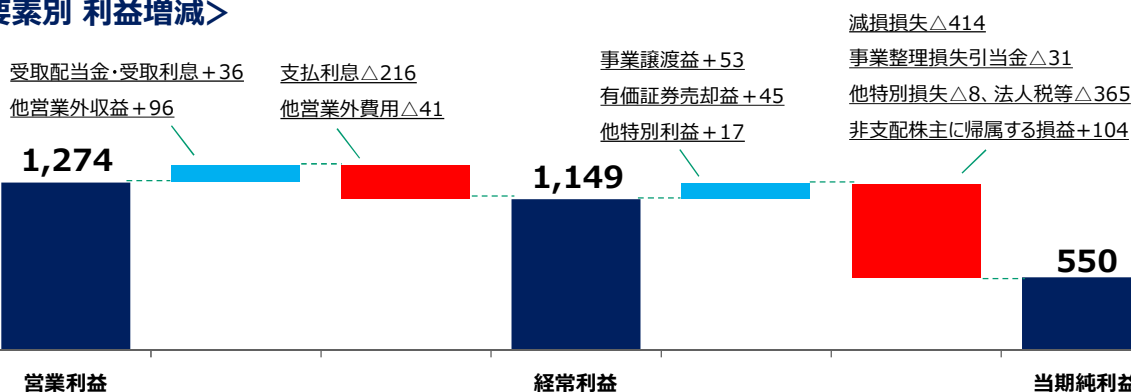
2020年/3月期 連結業績



(単位：百万円)

科目	19/3期	20/3期	前年同期比	増減額
売上高	44,479	43,494	98%	△985
営業利益	646	1,274	197%	+628
経常利益	452	1,149	254%	+697
当期純利益	△1,029	550	-	+1,579

<要素別 利益増減>



2020年/3月期 通期業績予想値と実績差異



(単位：百万円)

科目	20/3期 予想値	20/3期 実績	達成率	予実差異コメント
売上高	45,000	43,494	97%	1. 売上高 エレクトロニクス事業の売上高が減少
営業利益	1,100	1,274	116%	2. 営業利益 モビリティ事業の営業利益が増加
経常利益	850	1,149	135%	3. 経常利益 営業利益の増加並びに、為替差損の減少
当期純利益	430	550	128%	4. 当期純利益 経常利益の増加並びに、繰延税金資産の計上を見合せ
年間配当金 (予定)	10円	10円	-	



2020年/3月期 セグメント別業績



(前年同期比)

エレクトロニクス

売上高	17,611百万円	5.9% Down	↓
セグメント利益	994百万円	6.2% Up	↑

- 国内スマートフォン関連部材の需要低迷が続く、電子部品メーカー向けの高機能材料の受注が減少
- 燃料電池関連部材の受注と石膏 casting などの試作受注が増加
- ベトナム工場のフィルム事業は、中国からの生産移管が進み受注が増加

モビリティ

売上高	18,303百万円	5.3% Up	↑
セグメント利益	931百万円	617.7% Up	↑

- 稲沢工場の巻線関連部品の受注が堅調に推移
- アセアン主力工場も堅調に推移してきたが、4Qに入り顧客の生産調整が相次ぎ失速
- 前連結会計年度に行った固定資産の減損処理による減価償却費の負担軽減

医療・精密機器

売上高	6,896百万円	11.0% Down	↓
セグメント利益	156百万円	57.7% Down	↓

- プリンター関連部品、及び医療機器関連の Disposable 器具の受注がともに減少

その他

売上高	903百万円	1.8% Down	↓
セグメント利益	114百万円	22.2% Down	↓

- 研磨用キャリアの受注は堅調に推移したが、金型事業の収益悪化により減少

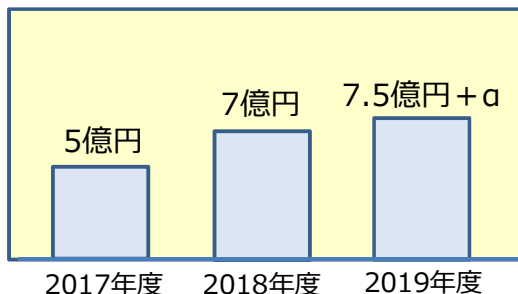
中期経営計画2019 基本指標等の振り返り



計画

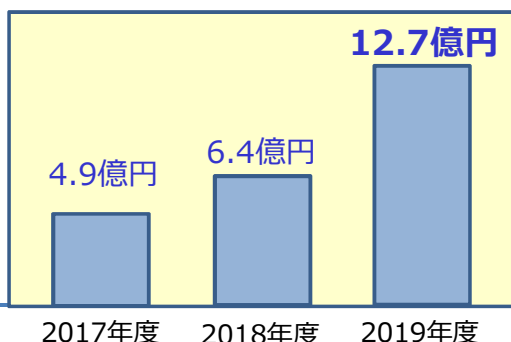
連結営業利益の3カ年累計額
16億円→**19.5億円以上**

※2018年11月に修正



実績

連結営業利益の3カ年累計額：**24.0億円**



ROE

— — **3.5%以上**

— — **5.7%**

配当

4円 5円 5円+a

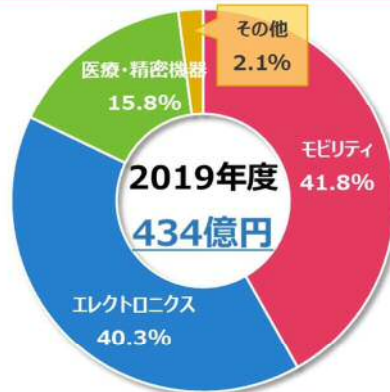
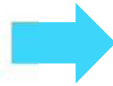
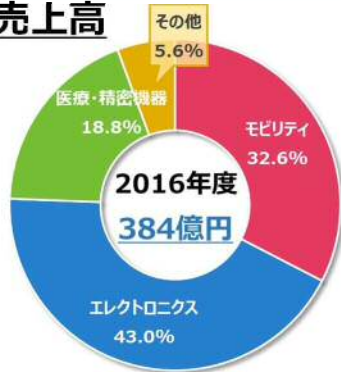
4円 0円 **10円**

全体像

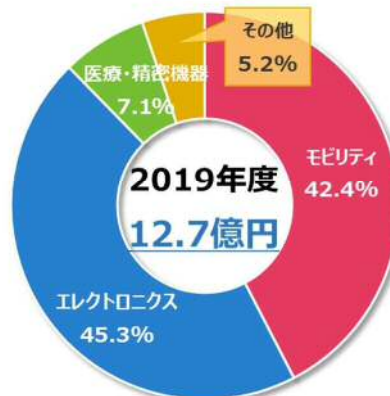
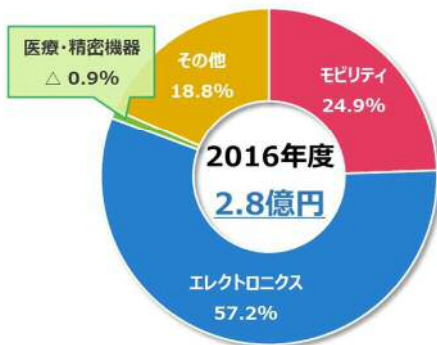
【実現する姿】
赤字事業・拠点がなくなっている

**2つの赤字事業（広島・刈刈）を黒字
転換させる目途付けを完了**

■ 連結売上高



■ 連結セグメント利益



※売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額のものです。

II 中期経営計画

～2021年3月期の取組み～

I. 2021年3月期の業績予想

II. 中期経営計画2022の定量目標



「未定」とさせていただきます

- 2020年3月31日をもって、中期経営計画2019を終了し、中期経営計画2022に移行すべきところ、新型コロナウイルス感染症の拡大による著しい外部環境の変化が生じています。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大による受注への影響、収束時期並びに、収束後の経済・受注の回復状況及びサプライチェーンの変化が読み切れないことより、「2021年度3月期の業績予想」及び「中期経営計画2022の定量目標」は、「未定」とさせていただきます。

I. 経費の縮減活動

II. 各事業領域、特にサプライチェーンの変化の見定め

III. 中期経営計画2022-実行戦略の遂行 (実行戦略の追加、現行戦略の優先順位の変更を含む)

IV. 実効性のある定量目標の設定・開示

- 2021年3月期は、足元の受注減少に備えた「経費の縮減活動」と現行の「実行戦略」を遂行しながら、新型コロナウイルス感染症の収束後における各事業領域の構造的変化、特にサプライチェーンの変化を見定めて、実行戦略の追加、優先順位の変更を柔軟に行います。
- 後々に大幅な修正が生じることのないよう、実効性のある定量目標を開示する準備を進めます。

【参考資料1】長期ビジョン（全体像）



単年ではなく中期の各累計単位で持続的な成長を計る

フェーズ	事業の選択と捨象、 リバランスを行い 足元を固める期間	財務基盤を安定させつつ、 新たなビジネスモデルの構築に、挑戦する期間	新たなビジネスモデルをもって、 業界内における存在感を向上させる期間
姿	先行投資・種まき	収穫	新たな武器・ビジネスモデルの確立
	全事業・全拠点が 収益貢献している (赤字事業・拠点が なくなっている)	先行投資した事業が 収益に大きく貢献している ・コイル事業 ・医療機器事業 ・スリット加工事業	持続的成長を牽引する 収益性の高い事業が 各領域で確立されている

【参考資料2】長期ビジョン（事業の方向性）



モノづくりの高い技術を武器に、
取引先から求められる事業へ！
(+ 下請型ではない事業の追加)

有力パートナー企業とのアライアンス
を武器に、当社が介在しなければ
成立しない事業へ！
(= オリジナル機能の追加)

医療機器部品のOEMメーカーとして、
業界から高い評価を受けている事業へ！

1. 自動化をコアにした**自動車重要保安部品の量産技術**を確立する
2. ディスポーザブル製品を中心とした**精密医療機器の受託生産**を拡大する
3. 電子部品の領域で**次世代商材を開発・提供**する



I. 当社の存在目的

- モノづくりで世界をリードするお客様に、「異色ある価値」を提供し、お客様のモノづくりを支え続けること

II. 当社の目指す姿

- 「社員を強みの源泉」とするユニークで堅実な会社になること

III. 中期経営計画2022の基本方針

- 差別化技術とコスト競争力を磨く
- 現行のビジネスモデルの応用と改善を図りつつ、新規パートナーとの事業提携により、新たなビジネスモデルの構築に挑戦する

	中期経営計画 2022	中期経営計画2022 実行戦略		中期経営計画 2025
フェーズ	財務基盤を安定させつつ、新たなビジネスモデルの構築に、挑戦する期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現ビジネスモデルの強化 <ul style="list-style-type: none"> □ 差別化技術の強化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 巻き線技術 ✓ 素材加工技術 □ 製造コスト競争力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ラインの自動化の推進 ✓ 検査の自動化の推進 ✓ 在庫回転率の改善 ✓ 最適地生産の推進 □ スリット加工事業の拡大 ■ 現ビジネスモデルの応用 <ul style="list-style-type: none"> □ 新しい事業領域の開拓 ■ 現ビジネスモデルの改善 <ul style="list-style-type: none"> □ 業務プロセスとITシステムの改善 ■ 新ビジネスモデルの開発 <ul style="list-style-type: none"> □ 新規パートナーとの事業提携 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 新商材の開発 ✓ 自社企画製品の開発 	フェーズ	新たなビジネスモデルをもって、業界内における存在感を向上させる期間
実現する姿	先行投資した事業が収益に大きく貢献している ・コイル事業 ・医療機器事業 ・スリット加工事業		実現する姿	持続的成長を牽引する収益性の高い事業が各領域で確立されている

日邦産業株式会社
経営企画部 竹中・小清水

電話 : 052-218-3161
E-Mail : ir@nip.co.jp
HPアドレス : <https://www.nip.co.jp/>

将来見直しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

なお、本業績見直しにおける為替レートは、1米ドル＝110円、1タイバーツ＝3.5円で計算しています。